

参加チーム及び競技役員 各位

第36回全日本学生ライフセービング選手権大会  
実行委員会

新型コロナウイルス感染症における予防対策について

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<オーシャン競技編>】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに則り、以下の運用を行う予定です。具体的な運用については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

- 競技会初日から遡って、14日間の体調管理チェックシートを提出すること（専用アプリケーション「テレサ」の使用を原則とする。使用できない場合は紙媒体での提出を認める）。
- 競技会当日の体調チェックシートを提出すること（専用アプリケーション「テレサ」の使用、もしくは紙媒体）。
- 無観客での実施とするため、競技会会場への入場は関係者（当日の出場競技者、出場チームの引率者3人まで、コンディショニングトレーナー1人まで、競技会運営スタッフ、競技役員）のみとする。この為、競技に出場しない者（同チーム在籍だが本競技会に出場しない者、同チームの卒業生、保護者、一般観客、など）の来場は控えること。また、会場入口において入場者のチェックを実施する。
- 競技会場内には、体調チェックをクリアした者のみ入場を認める。この為、受付時に印（リストバンド、等）を配布する予定である。
- 会場のあらゆるところに手指消毒剤を設置する。
  - 会場出入り口、マーシャルテント、レコーダーテント、スタッフ控えテント及び通路、などに適宜配置する。
- 競技エリア外における応援等にあっては、以下を守ること。
  - 密集・密接とならないように利用する。
  - 大きな声での応援、大きな音の出る鳴り物の使用は禁止とする。
  - 応援は拍手のみとする。
- 招集について。
  - マーシャルテントには、関係競技役員と出場する競技者以外は立ち入らないこと。
  - レース直前までマスクを着用し、自身のレース直前にマスクを外し、外したマスクは袋や衣類ポケット等に収納すること。
- 各チームにおける待機テントをなるべく多くし、密集や密接を避ける工夫をすること。また、昼食など食事の際には「黙食」を徹底し、食事をとっている者とは最低1m以上の距離をとること。

- 公式掲示板は設置せず、Web 上に掲載する。
- 代表者会議は競技会の前日夜に、オンライン会議方式にて実施する（予定）。
- 式典（開会式・表彰式・閉会式）は原則として実施しない。